

会派代表質疑

3月定例会では、新年度一般会計予算に対して、各会派の代表者が質疑を行いました。



議長
松本 徹

財政健全化すすめ 市民のくらしを支える

議員 (頼高市政は3年間で23億円の借金残高を減らし、財政健全化を進めている) 市民税収と借金残高はどうか。
総務部長 個人市民税は個人所得が減り、減額を見込む。法人市民税は大企業の若干の景気回復で増額計上した。地

市財政の動向

日本共産党
梶原 秀明



議員 蕨市議団が求めている35人学級の拡充、エアコン設置など教育施策はどうか。
教育部長 35人程度学級は5年生まで拡大し臨時教員を6人採用する。エアコンは、昨年の猛暑を受け、小学校の全教室に設置し、学習環境を整備する。10年リリース。7月か

小学校へのエアコン設置など教育関係

方交付税は5億5千万円増の14億5千万円を見込む。臨時財政対策債を除いた債務残高は約244億8千万円で、前年より約10億8千万円減る見込みである。

平成23年度一般会計予算 頼高市長の姿勢について

新生会
三輪 かずよし



平成23年度市民税の収入見込みについて

議員 市民税個人分で前年度比3億5千584万9千円の大減額を見込んだ要因は何か。
総務部長 平成20年秋のリーマンショック以降、長引く景気の低迷により、勤労者が昨年中に受けた給与と所得のうち、

社会福祉協議会補助金の減額について

市長 確かに中央第一土地区画整理事業など、要望されている方向と、本市が進めている方向が違つというものについてでは応えていないものもあるが、個々の施策については可能なものは踏まえようという努力は十分にしている。

議員 新生会の重点要望が平成23年度予算に反映されていないことについて。
市長 確かに中央第一土地区画整理事業など、要望されている方向と、本市が進めている方向が違つというものについてでは応えていないものもあるが、個々の施策については可能なものは踏まえようという努力は十分にしている。

新生会重点要望について

議員 平成22年度は800万円を減額し、平成23年度はさらに1千万円の減額となっている。その削減理由と社会福祉協議会の運営に支障がないのか伺いたい。
健康福祉部長 本市の今後の財政状況を勘案するとともに、事業団との合併等による効率的、合理的な事業運営の確立と将来にわたる経営基盤の安定、整備を図るため、社会福祉協議会との協議を重ねた結果を踏まえて計上した。

国民健康保険特別会計繰出金について

議員 国民健康保険特別会計

ら使用開始予定。

ワクチン接種と国民健康保険

議員 新たなワクチン接種補助の対象者数について。
健康福祉部長 子宮頸がんワクチン接種の対象は中学1年生から高校1年生の女子で1千74人。ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンは2力月から5

歳未満で2千727人。高齢者肺炎球菌ワクチンは、70歳以上で1万321人。

議員 国民健康保険は大企業や協会けんぽの保険料と比べ、負担が重い。市長の税率値上げを抑える努力は評価できる。今後の見通しはどうか。

防犯対策

議員 放置自転車対策、夜間特別防犯パトロール、防犯灯設置状況はどうか。
市民生活部長 犯罪の多くを占める自転車盗難を防ぐため、各駐輪場を巡回する。ひったくりなどの抑止として、午後6時から11時にパトロールを

へ繰出金12億4千95万3千円であるが、年々増加している。従前から国民健康保険税の見直しをすべきとの意見があるにもかかわらず、一向に検討する様子がないが、どのように考えているのか。

いる方々にとっては二重払いのような形が続いているが、その認識を聞きたい。
市長 市民の世帯で4割が入入している重要性をかんがみて、この制度の安定的な運営を図る立場で対応している。

生活保護費について

議員 生活保護扶助費が27億円を超えているが、もう少し調査を徹底すべきではないか。
健康福祉部長 ケースワーカーの指導は日ごろから徹底している。21年度の訪問件数が年間938回であったのが、22年度は1月の時点で1千400回と訪問に力を入れている。

議員 収入に対する負担率は他の保険の倍以上だ。離職すれば誰もが加入する国保。国保会計へ市が補助するのは政策的な意義がある。国保運営協議会から、財政のあり方について答申を受けているので、それをふまえて今後検討する。

蕨らしいまちづくり

議員 中央第一地区のまちづくりと集中豪雨による浸水対策はどうか。
都市整備部長 中央第一は権利者の皆さんとの協議でまとめた原案をもとに、今年度は事業転換に向けて「まちづくりプラン」を作る。わらび公園下に雨水調整池の設置工事を行う。財源は、国の交付金と起債等で賄う予定。

平成23年度一般会計予算

新年度当初予算編成方針と 市政運営を問う

公明党
大石 幸一



市債残高について

議員 平成23年度末における市債残高と今後の推移について聞きたい。

総務部長 今年度の市債残高見込みは12億3千300万円の発行に対して、12億9千800万円程度の元金償還で、結果として約6千500万円の減額となり、

議会の役割は行政への監視と政策の提言だ。新年度当初予算に「渴」!

民主党
一関 和一



政府当初予算と 市財政について

議員 政府の当初予算と市財政への整合性と影響についてどう考えているか。

総務部長 地方財政計画に基づき、地方交付税や臨時財政対策債などを見積もったほか、3歳未満の子ども手当の増

額及びこの増額に伴う国庫支出金などを計上している。

基本方針と重点施策について

議員 今年度予算編成の基本方針と重点施策は何か。

総務部長 長引く経済不況の中、市民生活は依然として厳しい状況にあり、新年度においても市民の暮らしを支え、心が通い合う日本一の実績を市政を目指して全力を尽くすこととしている。

重点施策としては、わらび地域力発揮プランを反映させながら、引き続き安全・安心されいなまちづくりを初めとする5つの柱に取り組んだ予算を編成した。

民主党藤市議団からの要望について

議員 民主党藤市議団の政策及び予算要望をどう反映されたのか。

総務部長 学校体育館の耐震化へ向けた取り組みや北町地区への雨水調整池整備、小学校の普通教室及び特別教室へのエアコン設置などを新年度予算に反映している。

滞納債権問題について

議員 増加の一途を辿る市税等の滞納債権対策と新年度回収見込みについてはどうか。

率85%で914人、ヒブと小児用肺炎球菌は対象者が同じで、2力月から5歳未満2千727人、1歳未満の接種率100%で596人、1歳以上5歳未満の接種率80%で2千131人である。また、高齢者肺炎球菌の対象者は70歳以上で1万321人、接種率約25%、2千670人で積算している。

商業の活性化について

議員 あき店舗有効活用事業補助金の事業内容と積算根拠についてはどうか。

市民生活部長 藤市まちづくり連合会が有効活用が必要なおき店舗を指定し、その店舗

総務部長 債務者に納付を促すため速やかに文書や電話等による催告を実施することにも、臨地訪問や納付相談を通して未収金の回収に当たっているが、さらにそれを強化するため、債権管理対策委員会において、滞納管理に関する指針づくりを行っている。

なお、目標回収率と額については、景気の動向等厳しいが当初予算で計上した目標を上回るように努力したい。

特別・企業会計への一般会計からの繰入金について

議員 特別会計及び企業会計への一般会計からの繰入金の

でまちづくり連合会がみずから営業を行う場合等に、一部の費用を補助する。今年度は2店舗程度の有効活用に取り組みたいと考えている。

藤西口地区のまちづくりについて

議員 藤西口地区まちづくりコンサルティング委託料はどのような性質のものなのか。

都市整備部長 再開発事業の見直しに当たり、引き続き駅前広場等の公共施設整備の内容を含め、施設計画の検討を行うため、必要な資料の作成や地区協議会の開催支援を委託するものである。

委細とその妥当性、あわせて対前年比についてはどうか。

総務部長 国民健康保険特別会計は保険給付費の伸び等により、前年度より1億5千12万9千円増額、公共下水道事業特別会計は公債費等の減額により、前年度より2千831万1千円減額、介護保険特別会計は保険給付費の伸び等により、前年度より1千740万8千円の増額、後期高齢者医療特別会計は健康診査委託料の増等により、前年度より1千604万5千円の増額となっている。(3時間余りの所要時間で総括15、歳入歳出123、計138項目の質疑を行う)

幼稚園児補助金について

議員 本事業は公明党藤市議団の最重要項目の1つであり、さらなる拡充と保護者負担軽減のため強く訴えてきた。そこで、補助金全般の内容と今後の展望について聞きたい。

教育部長 この補助金は幼稚園就園奨励費に該当しない世帯に対して補助金を支給するもので、満3歳児から4歳児計24名に対しては、それぞれ1人当たりの補助金が2万8千円、計72万2千円を見込み、また、5歳児14名に対しては1人当たりの補助金が4万円、計56万円を見込んでいる。

3月定例会で行われる予定だった 一般質問の項目を掲載します！！

◆比企孝司

- ①県からの権限移譲について
- ②本市の機構のあり方について
- ③消防業務について
- ④新学習指導要領実施に伴う教育現場の対応について
- ⑤民生・児童委員について

◆今井良助

- ①待機児童の解消に向けて
- ②水道の直結給水について

◆一関和

- ①（仮称）蕨市債権管理条例の制定について
- ②個人市民税10%減税の可能性について

- ③北町地区の諸課題について

◆高橋悦朗

- ①本市の新年度事業について
- ②地上デジタル放送完全移行への対策について

- ③粗大ごみの廃棄について

- ④住宅用火災警報器の普及率と推進状況について

◆岡田栄次

- ①国民健康保険制度の広域化について
- ②国保会計への繰出金について

- ③生活保護費に係る現状について
- ④温水プールを包含した複合施設の整備について

◆志村 茂

- ①中学校へのクーラー設置について

- ②住宅リフォーム助成制度（住宅改修資金助成制度）について
- ③歯周疾患検診について
- ④住宅用火災警報器の普及について

◆大嶋公一

- ①子育て支援策について
- ②市立病院経営の今後について
- ③特別養護老人ホームの増設について

- ④蕨駅前の整備、利用及び更なるバリアフリー化の推進について

◆鈴木 智

- ①中央第一地区のまちづくりについて
- ②高齢者の見守りと日常生活の支援について

- ③防犯灯の維持管理について

◆梶原秀明

- ①商店街、中小商店の活性化の方策について
- ②住宅ローン等の金利の引き下げ、中小企業円滑化法の市民への周知について

- ③家賃補助制度の拡充について
- ④北町コミュニティセンターのスリッパについて

◆川島善徳

- ①安全安心きれいなまちづくりの推進について
- ②蕨市民公園並びに周辺の環境整備について

- ③安全安心きれいなまちづくりについて
- ④小・中学校の校舎外部トイレ設置について

◆池上智康

- ①安全安心きれいなまちづくりの推進について
- ②蕨市民公園並びに周辺の環境整備について



- ①中仙道蕨宿開設40周年記念事業に向けての歴史文化軸の諸整備について
- ②地域資源の活用促進について

◆山脇紀子

- ①待機児童解消に向けて
- ②ごみの持ち出し方ルールとごみ減量化に向けた方策について

- ③滞納者への生活再建を見通した相談徴収体制について
- ④アウトメディア宣言制定に向けた取り組みについて

◆染谷 一子

- ①安全で安定した学校給食の供給について
- ②学校図書館教育の充実について

- ③小・中学生の読書活動支援について
- ④錦町土地区画整理事業について

◆池上東二

- ①安全安心きれいなまちづくりについて
- ②安全安心きれいなまちづくりについて
- ③文化財保護について
- ④小・中学校の校舎外部トイレ設置について

◆池上智康

- ①安全安心きれいなまちづくりの推進について
- ②蕨市民公園並びに周辺の環境整備について

会派及び委員会構成変更のお知らせ

須賀敬史氏（2月15日付）・三輪かずよし氏（5月29日付）が蕨市議会議員を辞職しました。これに伴い、次のとおり

◆会派構成

新生会 7人・共産党 4人
公明党 3人・民主党 2人

◆環境福祉経済常任委員会

会派及び環境福祉経済常任委員会・教育まちづくり常任委員会
委員会の構成が変更になりました。

◆教育まちづくり常任委員会

（委員会の◎印は委員長、○印は副委員長。敬称略。）
◎岡田 栄次 ○大嶋 公一
山脇 紀子 松本 徹

採択した請願を意見書として関係各大臣に提出

◆容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書
内容 今日、地球温暖化防止の観点からも、資源の無駄遣いによる環境負荷を減らすことが求められています。諸外国の先進的な取り組みでは「ホテル等での使い捨て用品の無償提供禁止」や、「ペットボトル入の飲料水の調達を禁止」する自治体が登場しています。

提出先：内閣総理大臣
内閣府特命担当大臣
財務大臣・環境大臣
厚生労働大臣
経済産業大臣
農林水産大臣
衆議院・参議院議長

我が国においても、一日も早く持続可能な社会へ転換するため、①分別収集・選別保管費用の製品価格への内部化



環境に優しいマイバッグの使用を

平成23年3月定例会における議案等に対する各会派の賛否結果

議案番号	議 案 名	新生会	共産党	公明党	民主党	結果
議請第1号	「非核三原則」の法制について国への意見書提出を求める請願書	×	○	×	○	不採択
議請第2号	「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願	○	○	○	○	採 択
陳情第2号	衆議院比例定数削減に反対する国への意見書提出を求める陳情	×	○	○	×	不採択
議案第1号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可 決
議案第2号	蕨市職員退職手当条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可 決
議案第3号	蕨市特別会計設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可 決
議案第4号	蕨市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可 決
議案第5号	蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可 決
議案第6号	蕨市都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可 決
議案第7号	蕨市公営企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可 決
議案第8号	平成22年度蕨市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	可 決
議案第9号	平成22年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	可 決
議案第10号	平成22年度蕨市老人保健医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	可 決
議案第11号	平成22年度蕨市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	可 決
議案第12号	平成22年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	可 決
議案第13号	平成22年度蕨都市計画事業中央第一土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	可 決
議案第14号	平成22年度蕨市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	可 決
議案第15号	平成22年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	可 決
議案第16号	平成22年度蕨市立病院事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	可 決
議案第17号	平成22年度蕨市水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	可 決
議案第18号	平成23年度蕨市一般会計予算	○	○	○	○	可 決
議案第19号	平成23年度蕨市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	可 決
議案第20号	平成23年度蕨市公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	可 決
議案第21号	平成23年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	可 決
議案第22号	平成23年度蕨都市計画事業中央第一土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	可 決
議案第23号	平成23年度蕨市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	可 決
議案第24号	平成23年度蕨市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	可 決
議案第25号	平成23年度蕨市立病院事業会計予算	○	○	○	○	可 決
議案第26号	平成23年度蕨市水道事業会計予算	○	○	○	○	可 決
議案第27号	財産の取得について（消防ポンプ自動車（水Ⅰ－Ｂ型））	○	○	○	○	可 決
委員会提出 議案第1号	容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書	○	○	○	○	可 決

※議案第5・8・14・18・21号については質疑が行われました。質疑の詳細な内容は蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になることができます。

震災による 後の対応について



全員協議会を

去る3月16日、蕨市議会ではより多くの職員が東日本大震災への対応に専念できるように、通常3日間をかけて行われる一般質問を平成23年第1回蕨市議会定例会に限り、行わないこととしました。また、市内における地震被害の状況や今後の対応についての方向性を把握・確認するために、全員協議会を開催しました。

マスコミ・インターネット・チェーンメール等で様々な情報が錯綜する中、『議会は今、市民のために何をすべきか』という観点から、市長及び執行機関の職員と協議を行い、執行機関から『市内被害状況・避難所の開設・計画停電等の情報提供・被災地への支援』等に関する説明を受けました。その後、主に以下の内容についての質疑応答を行いました。

(※以下の質疑応答はあくまで3月16日時点での状況に基づいて行われたものです。現在までに状況や対応が変わったものについてはご了承ください。)

市民への情報提供について

議員 地震当日は全ての防災無線が正常に流れたか。また、市民から聞き取りづらいつの指摘もあると聞くがどうか。

市民生活部長 震度計が4強を記録すると防災無線が流れるようになっており、当日も正常に流れている。また、聞き取りづらいつの声も聞いており、職員になるべくゆつくり話させるようにしている。

議員 広報車で市内をまわる時も極力スピードを落とすとして運行し、うるさいくらいの音量でないと聞き取れないことでもあると思う。また、商工会議所の協力を得て、防災無線の内容を各商店街・会の有線放送で流すのも効果的なので検討してほしい。

さらに、以前は火災が起きた時などにケーブルテレビでテロップが流れていたが、

協力を仰ぐことはできないか。
市民生活部長 現在、ウインクの行政チャンネルにおいて、計画停電の情報が流されており、それ以外にも適宜新たな情報が出てくれば、ご協力いただけることになっている。

議員 市民は計画停電に困惑しているが、停電になる前に該当地域に知らせてもらえるようにできないか。

市長 市役所には事前に計画停電に関する詳細な情報が来ていると思うのだが、残念ながら電力会社からは事前にどの地域で実施するという話は来っていない。ただし、問い合わせは数多くあるので、間違いない情報を正確に提供していくことが大事だと思っている。

避難弱者への対応について

議員 地震発生直後から、民生委員がひとり暮らしの高齢



戸田市内での地割れ

者宅を訪問していたようだが、避難弱者といわれる方々への対応はどうであったか。

健康福祉部長 民生委員の見回りについては福祉総務課からお願いしたが、幸い負傷者等の連絡はなかった。また、福祉連絡システムの利用者約240人全員に連絡し、状況を確認した。

教育現場での対応について

議員 放射能の飛散についてのうわさやチェーンメールが出回り、多くの保護者や児童・生徒が不安に感じているが、教育委員会ではどのように対応していく考えか。

教育部長 現時点では国や県からこの問題に関する指導や通知はないので、まずは教育委員会として各学校ごとの対

全国市議会議長会を通じて被災地に送りました。



3.11東日本大 市内被害状況と今

開催しました

応について調査し、取り組んでいきたい。

市内での物資不足について

議員 生活用品の買い占めが報道されているが、市の備蓄品を放出する考えはあるか。

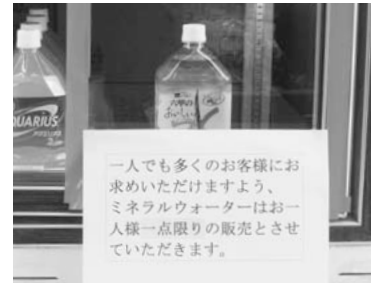
市民生活部長 昨日(3/15)

も東海地方で地震があり、この先がどうなるか分からない段階での備蓄品の放出は、今のところ考えていない。

一般家庭での断水について

議員 受水槽による断水は聞いているが、一般家庭でも断水となる可能性はあるのか。

水道部長 水道部に自家発電機があるので、停電時も断水せずに配水することが可能である。自家発電機の燃料についても、燃料販売店にできる限りご協力いただけるということになっている。



ミネラルウォーターの購入が困難に

ごみ収集について

議員 今後、ガソリン等の燃料が枯渇することも考えられるが、ごみ収集は問題なく行われるのか。

市民生活部長 戸田市や蕨市田衛生センターと協議し、ごみ収集業者については燃料販売店に優先的に供給してもらえようをお願いしてあるので、当分の間は大丈夫である。

市長 収集後のごみの焼却についても、蕨市田衛生センターの焼却施設に焼却熱を利用した自家発電機が備わって

いるので、通常通り行なうことができる。

市立病院の診療体制への影響について

議員 市立病院にも非常時に備えて自家発電機があると思うが、燃料の確保等により診療体制への影響はないか。

市立病院事務局長 市立病院施設は自家発電機でカバーできる部分とできない部分に分かれる。自家発電機でカバーできるのは各病室・ナースセンター・オペ室・透析室等であり、外来等については一般電源が必要になる。

議員 自家発電機の燃料については、3時間のフル作動を20日間継続できるだけの量を現時点で備蓄しており、燃料の補充についても、燃料販売店にお願いをしている。

危機管理対策本部の設置について

議員 地震発生後、災害対策本部を設置して対応されているが、今後も中・長期的に色々な問題が発生する可能性があることを考えると、ある程度の期間、複数の専属スタッフによる危機管理対策本部を設けて対応していくべきではないか。

市長 私を本部長とする災害対策本部では、安全安心推進課の職員が中心となり、公民館職員や都市整備部職員と連携しながら対応にあたっており、この体制でしっかり機能している。

ただし、新たな災害の発生や被害の長期化ということになるのであれば、適宜色々なことを検討する必要があるかと思う。



地震直後に庁舎から避難する来庁者と職員

全員協議会とは

議長の招集により議員全員が出席し、市政に関する重要事件や執行機関との意見調整を必要とする事項等について、協議を行うために開かれる会議です。

本市からの救援隊の派遣について

議員 大災害時に本市から救援隊が出動したことがあるが、今回はどうなのか。

消防長 本市は埼玉県の指揮命令系統下に入り、県からの要請があれば出動できるよう待機をしている段階である。

蕨市議会では東日本大震災の義援金として30万円を

